

市史編さんだより

(8)



東村山市の

学校ことばはじめ

学校であり、回田小学校も市内では最古の小学校に属します。

現在、東村山市には、

小学校が15校・中学校が

7校・高校が5校ありま

す。先日、市立北山小学

校を訪問しました。その

『学校要覧』によれば、

1972年9月に化成・

回田両小学校の過大解消

のために第十一小学校用

地取得委員会が設置さ

れ、4年半後の1977

年4月北山小学校が開校

したといえます。「第十

一小学校用地取得委員

会」とあるように、北山

小学校は東村山市の11番

目の小学校ですが、過大

解消の対象となった化成

小学校は市の一番古い小

化成小学校は1874

年(明治7年)10月1日

に設立が認可され、翌年

1月1日に開校していま

す。これを見ると、化成

小学校の開校は、187

2年(明治5年)の「学

制」に基づく設立である

ということとは容易に判明

するでしょう。学制では

全国を8大学区にわけ、

各大学区に大学を1校、

1大学区を32中学区にわ

け、1中学区に中学校を

1校、中学区をさらに20

小学校として、各小学区

に小学校を1校設置する

ことになっています。化

成小学校はこの規定によ

って開校しました。

ところで、化成小学校

開校以前に東村山市域に

は学校はなかったのか。

『東村山市史』(197

1年刊)には、野口村に

松栄堂という寺小屋が天

保8、9年(1837、

8年)に開設され、安政

年間(1850年代後

半)まで約20年間ほど続

いたとあります。この天

保年間、江戸では最も

多く寺小屋が開設された

時期です。また、化成小

学校に長く勤務し、戦後

化成小の校長と町の教育

長を勤めた下田佐重氏が

まとめた『東村山町教育

の歩み』(1962年

刊)によれば、東村山市

域にはいくつかの学校が

ありました。

それらは、野口村の徳

蔵寺にあった野口学校、

久米川村の榎本貞義氏が

家塾として開校した久米

川学校、秋津村の不動山

平山氏が家塾として開校

した柳瀬学校、光明院

(今の不動尊祠堂の辺

り)を学舎とした回田の

学舎です。これらのう

ち、梅岩寺の久米川学

校、光明院の回田学校が

化成小学校設置認可から

開校まで存続していまし

た。このような家塾の学

校が、明治維新前後には

いくつか作られ、庶民教

育にあたりました。これ

が近代の小学校として定

着するまでには、さらに

紆余曲折があります。

なお、1889年(明

治22年)の町村制施行で

野口・久米川・回田・大

谷の四組合村に南秋津村

が合併して東村山となり

ましたが、この当時、学

校は化成小学校・大谷学

校・柳瀬学校の3校にな

っていました。

(近代担当 君島和彦)